



日野市のごみ情報誌

エコ

Vol.41

平成29年5月 発行／日野市環境共生部クリーンセンターごみゼロ推進課

利便性よりも未来環境
ごみゼロ社会をめざそう

5つのRで始まるキーワード

- | | | |
|---------|---|---------|
| 1 断 | る | Refuse |
| 2 減 | 量 | Reduce |
| 3 何度も使う | | Reuse |
| 4 返 | す | Return |
| 5 分別徹底 | | Recycle |

〒191-0021 日野市石田 1-210-2 ☎ 042-581-0444 FAX 042-586-6606 ホームページ <http://www.city.hino.lg.jp/>

「エコ」は市HPでもご覧いただけます。公共施設にも置いてあります。

第3次

日野市ごみゼロプラン が完成しました！



第3次日野市ごみゼロプラン(一般廃棄物処理基本計画)は、平成29～38年度の10年間でどのようにごみを減らしていくかという中期計画になります。

市民、事業者、市の3者で構成する策定委員会を立ち上げ、内容について検討してきた結果、この3月にプランが完成しました。

3ページから6ページに、プランの概要版を差し込みましたので、ご覧ください。

なお、本編および資料編は、市内図書館および市ホームページで見ることができます。

今号の主な内容

- 生ごみ減らそう！ 活かそう！ 大作戦！ 2面
- 第3次日野市ごみゼロプラン 3～6面
- 北川原公園およびクリーンセンター専用路整備工事などが始まりました 7面
- まだ使える家具はリサイクル事務所へ 8面

この情報誌「エコ」は、環境（Environment）と協力（Cooperation）の頭文字が皆さまのもとへ響き、それが大きな反響となって広がっていくことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減っていき、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。皆さまのご意見、ご感想をお寄せください。

第3次日野市ごみゼロプラン

～ごみゼロ社会を目指して～

(日野市一般廃棄物処理基本計画 概要版)

1 計画策定の背景と目的

第3次ごみゼロプランは、「ごみゼロ社会」の実現に向けて、多様化する廃棄物の資源化や、更なるごみ減量のための施策および取り組みを示した計画です。

本計画は、平成27・28年度に「第3次日野市ごみゼロプラン策定委員会」を立ち上げ、市民・事業者が参画した約40人の委員と共に、市民が理解しやすい計画を目指して策定されました。

2 計画期間

本計画の計画期間は、29～38年度までの10年間とし、平成33年度を前期目標年次、

平成38年度を後期目標年次とします。

3 日野市のごみ処理の課題

主な課題は以下の四つです。

課題1 ごみ減量

平成12年のごみ改革により、ごみ排出量の大幅削減を達成しましたが、近年は「横ばい傾向」であることから更なるごみ減量が必要です。



課題2 リサイクル

可燃ごみの約33%を占める生ごみや分別を開始するプラスチック類の品目を資源として有効利用する必要があります。



課題3 ごみ減量意識

ごみ減量に向けた、市民・事業者のごみ減量意識の向上、環境学習の充実が必要です。



課題4 広域連携・適正処理

ごみの広域連携および適正処理を実施するに当たり、市民・事業者・市・関係機関との連携強化、情報共有などを促進する必要があります。



市民のページ

生ごみリサイクルサポーター連合会が企画・編集したコーナーです。

知恵袋

生ごみリサイクルサポーター連合会とは、生ごみの減量と堆肥化を推進する組織で、市民21人で構成されています。



Part33

生ごみ減らそう！ 活かそう！ 大作戦！

食品ロスゼロの冷蔵庫の作り方

1月28日にイオンモール多摩平の森イオンホールで食品ロスを減らすための講演会を行いました。講師にハッピー冷蔵庫アドバイザーの大野多恵子さんをお呼びしました。「冷蔵庫の中

がきれいだといとりができ、気持ちも幸せに、しかも食品ロスも減らせます。」とお話しされ冷蔵庫の収納法など、ハッピーな冷蔵庫作りを教えてくださいましたのでご紹介します。



「冷蔵庫はホテル」と考える！

冷蔵庫の食品は長期滞在させない！

冷蔵庫の中にたくさんの食品を溜めこみ過ぎて何が入っているのかわからず賞味・消費期限が過ぎていた、腐っていた、ということはありませんか。冷蔵庫の食品を出し入れしやすくし、食品をすぐに使い切ることで食品ロスもストレスも減ります！

片付けのコツ！

大片付け (はじめに1回だけ行うこと)

全部出す 冷蔵庫の中を全部出してみる

分ける “食べられるもの” “食べられないもの(処分するもの)”に分ける

考える なぜ食べなかったのかを考えて同じことをくり返さないようにする

小片付け (毎日行うこと)

定位置に戻す 冷蔵庫から出したものを戻すときは、元の位置(定位置)に戻す



収納のポイント！

冷蔵庫の中を全部出したら収納してみましょう！

定位置を決める どこに何があるかを探さずにすむ

冷蔵室 冷蔵室はぎっしり収納するより、6～7割の収納が出し入れしやすくてよい

冷凍室 冷凍室はぎっしり収納してもOK！しかし、何が入っているのか分かるように食品を立てて収納

野菜室 何があるのか見えるように立てて収納する。重ねないようにする

透明な容器を使う 透明の容器などに乾物や作ったおかずなどを入れておくとなんがあるのか一目瞭然。見える化が大事！

下の段は空けておく 手が届きやすい場所なので、残りのおかずなどしょっちゅう変わるものを入れる。お鍋ごとに入れられ便利

買い物のポイント！

買い物するメモには「今ある食品」も書いておく。持っている食品を買わずにすみます。

子供たちに“食育”を！

食育とは食事や食べ物に関する知識を身につけて健全な食生活ができるようにすることです。子供たちに食べ物の大切さや健康との関わり、野菜の種類や栽培の仕方などを伝えることで食べ残しを減らしましょう。絵本などを通してお話するのも楽しいのでは。



フードサルベージ(食べものを救う)！

お家でもてあましている食品で新たな使い道を考え素敵な1品に。

仲間同士で、もてあました食品を持ち寄って、サルベージパーティーをすれば楽しく食品ロスを減らすことができるのでは。

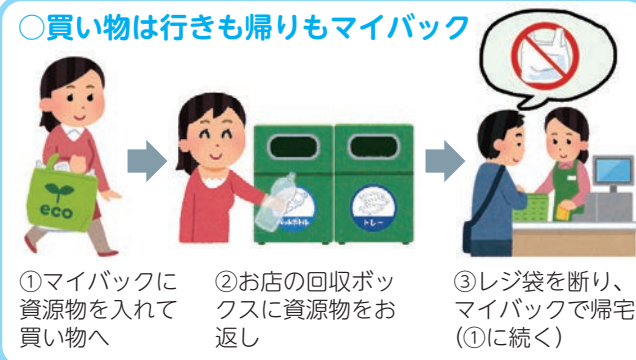
4 第3次ごみゼロプラン ～市民の皆さまに実施していただきたい取り組み（抜粋）

市のごみ処理における課題を解決すべく、以下の基本理念を掲げ、市民・事業者・市が協働し、それぞれが行動に移すことにより、ごみの更なる減量を目指します。

「ごみゼロ（焼却ゼロ・埋立てごみゼロ）」を実現することにより、環境への負荷が低減され、「環境問題の解決」および「循環型社会の実現」につながります。



【基本理念】ごみゼロ（焼却・埋立てごみゼロ）により地球環境問題の解決及び循環型社会の実現に向けてみんなで取り組むまち・日野

課題	課題1 ごみ減量	課題2 リサイクル	課題3 ごみの減量意識	課題4 広域連携・適正処理
基本方針	ごみの更なる減量 ■市民・事業者・市協働での「リフューズ（ごみになるものを持ち込まない）・リデュース（出るごみを減らす）・リユース（そのまま使えるものは何度も使う）・リターン（販売店へ返す）」によるごみの更なる減量	適正なリサイクルの推進 ■ごみの減量を優先し、1人1人のリサイクル意識の向上による、限りある資源の有効利用	ごみ減量の意識向上に向けた普及啓発・情報提供 ■5R（リフューズ・リデュース・リユース・リターン・リサイクル）に向けた、効果的な普及啓発・情報提供	広域連携の推進 ごみの適正処理の推進 ■広域処理における関係者との信頼関係確立による安全・安心かつ効率的なごみ処理体制の確立・運用 ■循環型社会を支える、適正なごみ処理体制の継続
ごみゼロ達成のための具体的な取り組み事項	① 容器包装お返し大作戦の実施！ ・マイバック・マイ容器を使用し、容器包装の「買わない」「もらわない」「店に返す」を徹底しましょう。 ○買い物は行きも帰りもマイバック  ①マイバックに資源物を入れて買い物へ ②お店の回収ボックスに資源物をお返し ③レジ袋を断り、マイバックで帰宅（①に続く） ② レジ袋、過剰包装はお断り！ ・マイバックを積極的に使用し、レジ袋や過剰包装は断る、頼まないようにしましょう。 ③ まだ使えるものはリユースへ！ ・フリーマーケット、リサイクル事務所や回転市場を積極的に活用しましょう。 ④ 3切り運動の実施で生ごみの削減を！ ・食材の使い切り、食べ切り、生ごみの水切りによって、生ごみの排出量を減らしましょう。  食材の使い切り 食材の食べ切り 生ごみの水切り	① 質の高いごみ分別の実施！ ・「分ければ資源」を合言葉に、より徹底したごみの分別を目指しましょう。 ② 家庭内生ごみ処理の実施！ ・住宅環境に即した家庭内生ごみ処理（庭や畑などに埋める、ダンボールコンポストなどの利用など）を実施しましょう。 ○生ごみリサイクルステッカーを貼ろう！  このステッカーが玄関に貼られている家庭は、家庭内で生ごみ処理を実施しているという証しです。 ③ プラスチックは減量、さらに適切な分別を！ ・プラスチック減量のための代替品（例：ラップ削減のため電子レンジ用のフタの使用、ペットボトル削減のためのマイボトルの使用）などを使用しましょう。 ・今後実施されるプラスチック類の回収において率先して分別しましょう。  電子レンジ用のフタやマイバックなどを使用しましょう。 ④ 剪定枝は資源化へ！ ・剪定枝の回収・資源化に協力しましょう。	① 情報紙・市報を活用してごみ減量を！ ・市報やエコー、ごみアプリ・ごみ資源分別カレンダーなどを有効に活用して、ごみ分別・減量を実施しましょう。 ・転入者やごみ分別に困っている人がいる場合は、住民同士で協力し、ごみ分別を徹底しましょう。 ② ごみ学習推進プログラムでごみ博士に！ ・ごみ学習推進プログラムに積極的に参加し、ごみや環境に関する知識を深め、ごみ減量に向けた意見の発信や行動につなげましょう。 ③ ごみ減量のための情報交換を！ ・市民・事業者・市が情報・意見交換できる場に積極的に参加しましょう  ごみアプリって？ 日野市ごみ分別アプリ 日野市で配信するアプリで、収集スケジュール、ごみ分別などが分かったり、出し忘れ防止アラートなどの機能を使うことができます。  iPhone版（アイフォン版）  Android版（アンドロイド版）	① 広域処理に向けて3市での連携を！ ・可燃ごみの広域処理を実施する3市（日野市、国分寺市、小金井市）において、現在設置を検討している情報共有の場に、ごみ減量などに関する意見を出しましょう。 ② ごみ減量に取り組み、処分場延命化へ！ ・最終処分場への負荷を軽減するため、最終処分量ゼロに向けて、ごみを分別・減量しましょう。  ○二ツ塚最終処分場 多摩地域から出たごみが埋め立てられており、多摩地域最後の最終処分場といわれています。 ※東京たま広域資源循環組合より ③ リサイクルプラザの検討に参加を！ ・リユースの促進・情報発信の拠点となるリサイクルプラザの計画作成時には、魅力的な施設となるよう市と協力して計画作りを行いましょう。 ④ 適正処理を続けるために！ ・市民団体・自治会のメンバーとなり、地域単位でのごみ減量・適正処理などの取り組みに参加しましょう。 ・廃棄物減量等推進員を中心に地域でのごみ減量に取り組ましましょう。

平成29年3月から北川原公園およびクリーンセンター専用路整備工事などが始まりました



新可燃ごみ処理施設建設工事車両が通行するための専用路などの整備および周辺環境整備による公園整備工事を行っています。

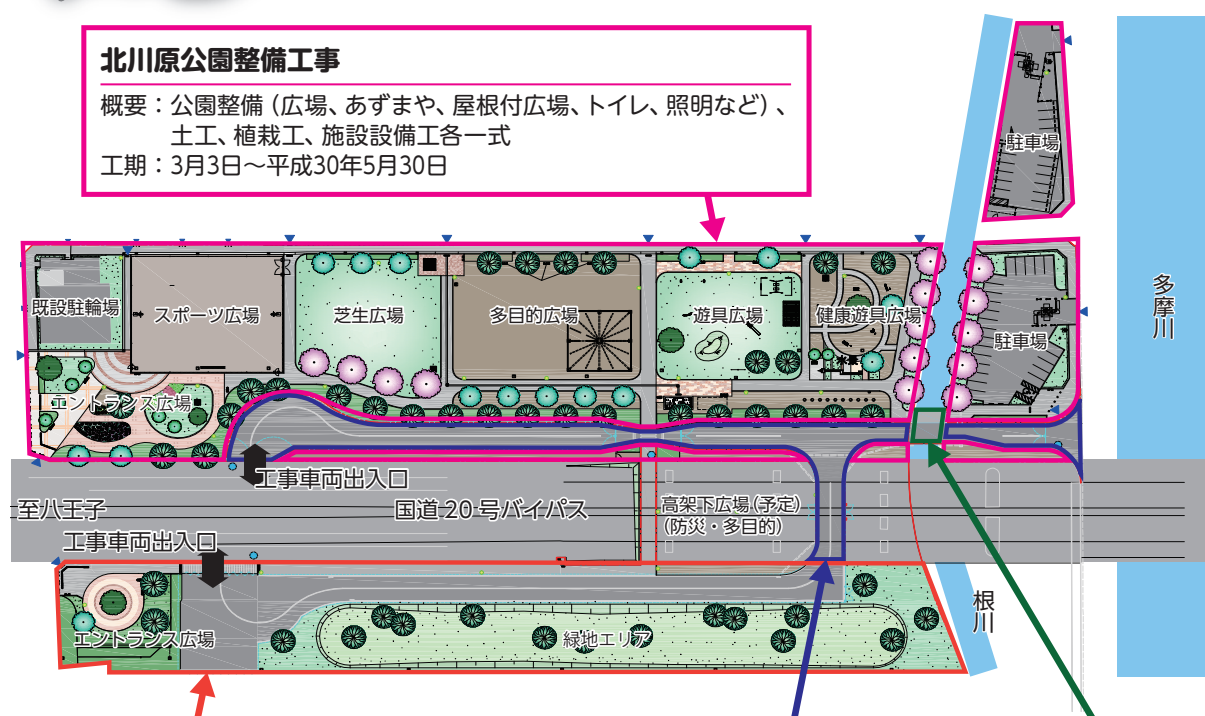
問合せ先

北川原公園、北川原広場整備について
緑と清流課(☎514-8307)

専用路、根川橋梁整備について
道路課(☎514-8422)

北川原公園整備工事

概要：公園整備（広場、あずまや、屋根付広場、トイレ、照明など）、
土工、植栽工、施設設備工各一式
工期：3月3日～平成30年5月30日



北川原広場等整備工事

概要：広場整備（歩道、通路など含む）、
土工、植栽工、施設設備工各一式
工期：2月17日～9月22日

クリーンセンター専用路整備工事

概要：道路築造（街渠、安全施設など含む）
工期：2月17日～9月22日

根川橋梁整備工事

概要：橋梁築造
工期：2月10日～9月22日

浅川清流環境組合からのお知らせ

☎浅川清流環境組合 (☎589-0555)

当面の予定

6月から	根川架橋、土壌対策
8月から	地中障害物調査・撤去

現在、新可燃ごみ処理施設の建設に向けて、建設予定地の仮囲い設置やインフラ（電気・水道など）の切り替えが始まりました。

建築工事の着工は10月以降の予定で進めており、クリーンセンター周辺自治会の皆さまを対象とした建築工事の説明会を8～9月ごろに開催の予定です。詳細については、決まり次第、組合ニュースなどでお知らせします。

5 数値目標

市では、以下の四つの数値目標に向けて取り組みを実施します。

達成に向けて
全力前進!



1 一人1日当たりのごみ・資源物排出量

多摩地域で一番少ない排出量!

平成33年度までに590g/人・日以下とし、
平成38年度までに550g/人・日以下とします



平成27年度 平成33年度 平成38年度

2 総資源化率

多摩地域で上位の総資源化率!

平成33年度までに42%以上とし、
平成38年度までに45%以上とします。



平成27年度 平成33年度 平成38年度

3 焼却処理量

平成27年度比20%削減!

平成33年度までに28,000t以下とし、
平成38年度までに26,000t以下とします



平成27年度 平成33年度 平成38年度

4 最終処分量

最終処分量ゼロ!

平成33年度までにゼロとし、
平成38年度までそれを維持します。



平成27年度 平成33年度 平成38年度

6 数値目標の達成に向けて

市民の皆さまの協力なくして目標の達成はできません。

以下の指標や取り組みを参考に、ごみゼロ達成へのご協力をお願いします。

皆さまの協力が
不可欠です!



1 一人1日当たりの可燃ごみ削減量



平成27年度 平成33年度 平成38年度

可燃ごみ-54gに向けた具体的な取り組み

- 生ごみの水切り
- 家庭・地域での堆肥化
- 可燃ごみ中に混入した紙類の分別・資源化
- 剪定枝などのリサイクル など

2 一人1日当たりの不燃ごみ削減量



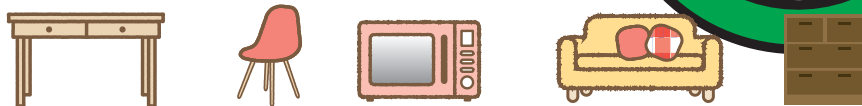
平成27年度 平成33年度 平成38年度

不燃ごみ-69gに向けた具体的な取り組み

- プラスチック類の分別・資源回収
- 小型家電・金属類回収の推進
- 分別徹底・適正排出 など

まだ使える家具は

リサイクル事務所へ



市が粗大ごみとして回収したタンスや食器棚などは、全てごみとして破碎処理しています。

まだ使える家具は、リサイクル事務所に引き取ってもらえば、再生してリユース（再使用）できます。

粗大ごみにお申し込みになる前に、ぜひご検討ください。

なお、リサイクル事務所では家具のほか、家電製品、健康器具、オーディオ類、食器類も取り扱っています。

リサイクル事務所

所在地 万願寺 6-5-6 ※下図参照

電話 ☎581-5960

受付時間 毎日9:30~16:30（年末年始を除く）



※リサイクル提供品を引き取りに伺う場合は有料です。引き取り手数料は、おおむね粗大ごみ処理手数料の半額です。

※リサイクル事務所に直接持ち込む場合は、引き取り手数料は無料です。

※品物の状態・在庫状況などにより、お引き取りできない場合がありますので、必ず事前に電話でご確認ください。

5/27(土)
10:00~14:00

リサイクルフェア

開催 掘り出し物を探しに、ぜひお越しください！

